

大分県書道 令和7年度前期 特別資格試験 課題

(令和7年7月28日必着)

種類	用紙の大きさ	課題	備考
1、漢字条幅	半切 (縦に使用)	梨花落地半窗雨 柳絮入簾三日風	梨花 ^{りかち} 地に ^お 落つ半 ^{はん} 窓 ^{そう} の雨 ^{あめ} 柳絮 ^{りゅうじゆ} 簾 ^{れん} に入る三日 ^{さんじつ} の風 ^{かぜ} (夏弘 ^{かこう})
2、楷書	半紙	泉聲在石間 (半紙に二行に書く)	泉聲 ^{せんせい} 石間 ^{せきかん} に在 ^あ り (姚合 ^{ようごう})
3、行書			
4、草書			
5、隸書	半紙	県書道の課題以外の古典を臨書する。(五〜六字)	法帖名を受験票・出品票に書くこと。
6、篆書			
7、随意	半紙	葛の花 踏みしだかれて、色あたらし。 この山道を行きし人あり (行変え自由)	葛 ^{くず} の花 踏みしだかれて、色あたらし。 この山道を行きし人あり 釈道空 ^{しやくどうくう} P237 (『海山のおひだ』一九二五(大正十四)年)
8、仮名条幅	半切 (縦に使用)	夕立のはじめに潮の匂ひけり (行変え自由)	夕立のはじめに潮の匂ひけり (山本洋子)
9、仮名	半紙 (料紙)		
10、調和体	半紙	大分支社での三年間、未熟な私にご親切にしてください、誠にありがとうございました。大分なく勤務することができましたのも、ご指導の賜物と感謝いたしております。 (市町村名 姓名又は姓号) (行変え自由)	① 行書で書くこと。 ② 行変えは自由。 ③ 市町村名、姓名(または号)を書くこと。
11、実用書	半紙		
12、硬筆	一般会学5・6年 規格用紙 本会競書	夕刻、背後に明るさを感じてふと窓に目をやると、燃えるような夕焼けが飛び込んできた。街明かりが点々と目立ち始めたビル街の向こう。短い時間ながら、刻々と表情を変える壮大な光のショーに見入った。 (市町村名 姓名又は姓号) (行変え自由)	① 行書で書くこと。 ② 各行の文字数や行数などの配列は、自分で考えて書くこと。 (大分合同新聞の記事より)